

女性のための各種依存症からの回復支援施設  
リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶ | 広報誌

# リバティール

# 秋

2023 AUTUMN  
Vol.08



Born Again

あなたにふさわしいやり方で生きてみませんか？

気持ちを  
新たに

おりーぶ支援・当事者スタッフ

「たくさんからの声・メッセージ」

olive

ロケ地：galleryサラ

秋の特集

2023 feel new

回復とは「治る」ではなく  
やめ続けること

新連載

現場スタッフ日誌

秋のレクリエーションでBBQへ  
おりーぶ | ワンチームを目指して



Liberty Women's house OLIVE



△HPへのアクセス  
はこちら



# ごあいさつ

## PRESIDENT MESSAGE

りぼーん秋号によせて

夏号を発行してすぐに、おりーぶは大きな決断をしました。拠点である事務所を、大津市真野のオフィスビルに、引越しをしました。

それと申しますのも、長年大津市南小松の馴染んだ土地で、用地も用意して新築を計画しておりましたところ、諸々の事情により、体力をつけての時を待つ決定したようなわけです。「グループホームは以前からの場所で、改修をしてそのまま残ります。」現在グループホームは近江舞子・志賀・仰木の里・真野に定員19名で登録しており、民間シェルターとしてもう1棟を確保して

おります。その上、デイセンターの拠点も、おごと温泉駅の山側に移しました。長く親しんでお世話になった高島市とお別れすることになりましたが、高島市の皆さんに頂きました応援と励ましにたくさんの勇気を頂きましたことに感謝いたしております。

ご報告ばかりですがもう一つ、11月23日におりーぶ11歳の記念フォーラムを行う予定です。場所や内容など、詳しくはまた追ってご案内いたします。

よろしければご参加をお待ちしております。

おりーぶの活動の方向性が変わることはありませんが、「一人は全体のために、全体は一人のために、与えあい、赦し合う共同体となりますように」と祈りつつ歩んでいきたいと思っております。

特に、Z世代の仲間も増えましたので時にふれて、仲間と一緒に回復する喜びを共有していきたいと思っております。

これからのおりーぶに、期待と応援をお願い申し上げます。

追記　デイセンターのマスコットねこの、ぽるちゃんは、残して行けないので「お引越しするよ!」と言いましたら「連れて行って!」ということで、スタッフの家のウッドデッキでごきげんで過しています。



理事長 山本良子

## 🌿 おりーぶ利用者の声

ニックネーム：たぬきちゃん

回復に向けて！！



病院から、おりーぶにきました。最初は、一人ぐらしをしていて、自分のことが、できなくなってきました。病気全かいでした。

リストカットもとまりませんでした。

ひどくなってきて、病院で入院しました。

げんちょうとげんかくがひどくはなしてしまうように

なってなおそうと思うが少しむずかしくつづけてなおしたい。

おりーぶに入所してから、相手に伝える事が出来るようになった。わからない時、自分から、聞けるようになった。時間をまっとういわれたらまつことが出来るようになった。はなしがきけるようになった。相手に、おしえてあげれるようになった。

これからも頑張る。

これからは、回復に向けて自分なりに、どりよくしていきたいです。いつも、まわりでたすけてもらいながらできるように、まわりでたすけてもらいながらできるようになっていてうれしいです。これからはしえんをしてもらって頑張って回復します。

これからについて

ニックネーム：汐と沙さん

私はおりーぶに入所して、3年が過ぎました。3年いる中でたくさんの経験をさせてもらい、自分の成長につながっていったと思います。今は入所して本当に良かったと思っています。

おりーぶでは自分で何でもする事、出来ない事は仲間の力を借りる事を学べたと思います。自分はダメな人間だと思っていたけど、仲間との色々な経験が、自分は大丈夫という自信になっていきました。



今、私は作業所に通い始めて、とても楽しく行けているので、そこから一般の仕事に行けるようになったら良いなと思います。一人暮らしに向けてがんばりたいと思います。



# 特集 | たくまさんからの声

# メッセージ



回復とは「治る」ではなく  
やめ続けること

## Profile

かなりやんちゃな生い立ちで、自由気ままに心向くままの青春時代を過ごしてきた。いつも興味のあることに一生懸命ではあったが、自由と引き換えに失ってきたものは大きいかもしれない。これからの人生は過去に忘れてきた物や現在の平穏な日々を支えてくれている人達に少しずつお返しをしながら自分自身を取り戻していけるよう今日を生きていきたい。

幼少期よりバス釣りにハマり、聖地琵琶湖へ憧れ「おらバスプロになるだ！」と息巻く。

文化祭や体育祭などのイベントがある度に全校生徒の前で単独コンサート。学校が休みの日は近所の沼や川へバス釣りへ行くか、家族でパチンコ屋へ行くか。当時のパチンコ屋さんには子供が打っても怒られない店があったのです。こんな良い子が何故！依存症になっていったのか？

## 「俺ってこういう人でした」

幼少期はエロガキ、キン肉マン、西部警察が大好き、田んぼでカエル捕まえると最高。ままごとの延長か知らないが、親戚の集まりがある度に親戚のお姉ちゃんから性的被害を受ける。小学時代は勉強大嫌い、教科書やノートは落書きでいっぱい、授業中はフケを机に集め、前の人にふー！笑 男子同士でケンカもしたが、何故か女子にもDVをして問題になったこともある。

毎週のように沼や川へ通いバス釣り。エロ本が落ちてると急遽釣り中断。読書タイム！駄菓子屋で女子に奢るのが快感で、親の財布や貯金箱からお金をパくる。万引きもしばしば。夏場は入場料200円だけ持って町民プールへ、そこでコインロッカー荒らしをして飲み食い。高校時代、かなり勉強が苦手だった為に、金さえ払えば誰でも入れるヤバイ学校へ入学。そこはチーマー、ヤンキー、根暗な子しかいない学校、しかし！女子はギャル多し←ここ大事！。駅や電車内では余裕で喫煙、放課後は女、ゲーセン、シンナー、夜は先輩の車でドライブやナンパ。ここまで読むと「こいつめっちゃテキトーに生きてんな〜」と、皆さん思われたことでしょう。でもですね、やっぱりうちも機能不全家族だったんですよね。

うちはまず父がアルコール依存でしたね。そして勿論、母はお決まりの共依存でした。父は母に対し束縛が凄くて、よくDVを目の当たりにしてました。ソファに母を押し倒し、首を絞めながら馬乗りになって殴ったり、階段から蹴り落としたり…



「本当にもうやめてよ!」「こんな大人には絶対ならない!」と、いつも心の中で泣き叫んでました。

それなのに!自分も母に対し、要求が通らない時などは殴る蹴るのDVをしていました。

とにかく「自分の要求を無理やり通す」という、本当に歪んだ思考をしていて、下校して家のテーブルにお金を置いてくれてないと、母の会社に電話して呼び出してもらい、

駄々をこねて母の会社までお金を取りに行くという…

今でも時折そういう歪んだ病気の部分が顔を出し、生き辛い時があります。



## 「孤独が病気を生む」

そして20代後半くらいでしたかね、何か俺って「変だな」と思ったのは。

周りと違うんですね、考え方とか物事の捉え方とか。

一人暮らしで彼女無しの友達も無し、仕事と家の往復、ゲームと釣りとパチンコだけが幸せ。

そんな孤独な生活を送っていると、今だから言えますが本当におかしくなるんですね。

例えば生活費や支払のお金をパチンコに使って負けて一文無し。

これって自分のせいじゃないですか?

健康な思考の人は生活費や支払のお金までは使わないですよ。

自分の場合は狂気的で、使ってはいけないお金まで使ってしまう、あればあるだけ使ってしまう。

金融会社からも枠いっぱい、借りれるだけ借りて連日パチンコフィーバー。

もし負けて一文無しになっても親に借りたらい、断られたら親から親戚にお願いしてもらおう。

釣り道具や服など売りに行ってお金を作る、犯罪を犯してまでお金を作る、そしてまた勝負へ行く。

孤独がどんどん病気を成長させ、四六時中パチンコの事ばかり考える立派な依存症になりました。

バス釣りで有名になるのが夢だったのに、パチンコに魂を犯され、生活も破綻していき、

どこからも借金できなくなり、切羽詰まって住居侵入、

窃盗で警察のお世話になり、自ら夢を断ってしまいました。

## 「おりーぶに入社して」

おりーぶに入社するまでは依存症という言葉すら知りませんでした。

未経験で入社して仲間達と一緒に回復プログラムを勉強し、

それでも自分が依存症だとは認めませんでした。

否認の病とはよく言ったもので、回復プログラムを受けてるにも拘らず、

言い訳ばかりでパチンコに通う毎日。

自分は依存症じゃない!と本気で思っていました。

でも増えるのは回復の知識よりもパチンコでの借金でしたね。

そんな自分も仲間と一緒に過ごしているとスピリチュアルな体験を目の当たりにします。

嫌でもスピリチュアルな体験と認めざるをえない体験ばかりなんですよ。

そうなっていくと実は自分は苦しんでいたんだ、依存症という病気だったんだという事が

不思議と入ってくる。ハイパーパワーが見るに見かねたのか、こんな自分をおりーぶと

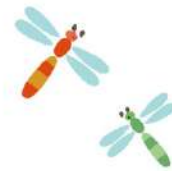
いう回復施設に繋げてくれた事に心から感謝してます。

仲間の力のおかげで手放す事ができ、仲間の力のおかげで楽に生きられるようになりました。

自分の病気は治る事はありません、でもやめ続ける事は出来ます。これからはずっと…







## 現場スタッフ日誌

皆さん季節は秋たけなわですね。

今回から現場スタッフの声！ということで、お話をさせてもらいます。おりーぶでは現在17名の利用者さんがおられ、毎日、ご自分の依存症と向き合いながらプログラムを受けておられます。

仲間の中で暮らす上で悩んだり苦しんだりとすることは日常です。

回復は楽しく！ということで、高島市のこどもの国へ行きBBQと湖水浴を楽しみました。

メニューもたくさんで（焼肉・焼きそば・べた焼・かき氷）にみなさん！大満足。

すいか割りに童心にかえって、普段見られない一面も見ることができました。

これからも現場支援を通じて利用者さんのひとり立ちを目指しながら、おりーぶ全体がワンチームなることの必要性を感じています。次回の現場スタッフの声もお楽しみに。



### 一般社団法人もくせいクラブは家族会を開催しています

おりーぶに入所されているご家族や、各種依存症や精神疾患など様々な理由によって生きづらさを抱えている「女性のご家族」のためのコミュニティ（集いの場）です。

参加ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

※ 性別問わずおりーぶに入所されていない一般の方でも参加できます。

共感と分かち合いが問題解決の糸口になればと考えています。

一人で悩まないで、みんなで生きづらさの回復を目指していきましょう。



日程：毎月 第2・第4土曜日 15:30～17:30

会場：非公開につきお問い合わせください

Tel：077-535-0313（おりーぶ）

今年もリバティー・ウィメンズハウス「おりーぶ」の支援を目指します。

一般社団法人「もくせいクラブ」の輪が大きくなりますようによろしくお祈いします。

## ご支援のお願い

「リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ」は、利用者負担のほか、会員の年会費と、個人・法人の皆さまからのご寄付で支えられております。当法人の活動にご賛同してくださる方は、ぜひ、賛助会員としてのサポートをお願いいたします。金額の多寡を問いません。日用品や食料品などの生活物資も大変感謝です。

もし、ご家庭や施設の雑用やお困りごとなどがございましたら、ご支援の代わりとして「ねこのて」へのお仕事のご依頼も随時受け付けさせていただきます。

ご支援をいただいた方にはお礼状を差し上げたく存じますので、E-mailまたはFAXにてお名前とご住所、お電話番号とメッセージをお書き添えの上ご連絡をお願いいたします。



### 【支援金 振込口座】

■ 京都中央信用金庫 / 山科中支店 (店番 037) 普通 0694328  
一般社団法人 もくせいくらぶ

※ もくせいくらぶ は、おりーぶの応援のためにさまざまな支援をしております

### 【物資支援 送り先】

■ 〒520-0232 滋賀県大津市真野2丁目27番4号 鈴鹿ビル2F  
特定非営利活動法人 リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ  
TEL: 077-535-0313

## ご支援いただいた方ありがとうございました

犬上地区更生保護女性会 様  
堀之内 敦子 様  
寺井 定雄 様  
神門 浩 様  
狩野 貴子 様  
岡本 幸雄 様  
西田 哲夫 様

佐武 直子 様  
田中 清司 様  
小牧 一美 様  
大鉢 佳子 様  
フードバンク高島 様  
守山こころのクリニック 様



ほか、匿名の方々 たくさんのご支援ありがとうございました。



# 進め！ 私たちの 回復への道

 ちょっとワケありの！？便利屋さんです



くらしの経験・知識豊富なプロスタッフの他  
おりーぶをもうすぐ卒業するメンバーも  
サポートスタッフとして活躍中です。  
ねこのてへのお仕事の依頼が、彼女たちの  
社会復帰のチカラとなります。  
草刈り・引っ越し・家事・用事など  
何でもまごころ込めてお手伝い♪

おりーぶ 広報誌 りぼーん

発行日：2023年10月1日 初版第1刷発行

発行元：リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ

編集人：(株)ねこのて 広報部

印刷・製本：社会福祉法人 いしづみ会

■事業本部

〒520-0232 滋賀県大津市真野2丁目27番4号 鈴鹿ビル2F

TEL：077-535-0313 FAX：077-575-2767

女性のための 各種依存症からの回復支援施設  
新しく生きる力を育む場所



Liberty Women's house OLIVE

おりーぶは、薬物・アルコール依存症  
摂食障害など各種依存症に悩む  
成人女性のための回復支援施設です。



お酒、薬物をやめたい

いつも寂しいかんじがして虚しい・・・

おりーぶはそんな女性のたちの回復の場です。

IBNS 978-6-76311-103-1

C9498 定価 無料・ご自由にお持ち帰りください